

2007 年度

科目名 社会福祉援助技術演習Ⅰ	対象学科・学年 教育教福2回生	担当者 畠中 義久
授業テーマ 福祉の担い手として、実践に役立つ専門援助技術を学ぶ。		
授業の概要と目標 1. 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させ、個別指導・集団指導を通して習得する。 2. 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を身につける。 3. 演習の中で、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。 4. 在宅での生活支援も視野に入れて理解する。		
評価方法 学年末に試験を実施する。また随時レポートを課し、授業態度を含めて総合的に評価する。		
テキスト ワークブック社会福祉援助技術演習1 対人援助の基礎 ワークブック社会福祉援助技術演習2 個人とのソーシャルワーク	著者 山田 容 山辺 朗子	出版社 ミネルヴァ書房
参考書 適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 自己覚知（1） 2. 自己覚知（2） 3. 価値観と他者への理解（1） 4. 価値観と他者への理解（2） 5. 援助的コミュニケーション（1） 6. 援助的コミュニケーション（2） 7. 面接の技法 8. 観察と記録（1） 9. 観察と記録（2） 10. ケースカンファレンスの方法（1） 11. ケースカンファレンスの方法（2） 12. グループワークの実際（1） 13. グループワークの実際（2） 14. 補足とまとめ（現場実習を踏まえて） 15. 補足とまとめ（現場実習を踏まえて）		